

取扱説明書

Cosmic 30M



エム・シー・エム株式会社

目 次

項目	ページ
1. ご使用になるまえに	3
2. 安全に取扱って頂くための注意事項	4
3. 仕様及び能力（テクニカルデータ）	5
4. 各部の名称	6
5. 準備操作	8
5-1 電源接続	8
5-2 切込径の設定	8
5-3 ウェイストBOX取り付け	8
5-4 ストリップ長、セミストリップ長さ設定	9
5-5 センターガイドの設定	9
5-6 フットスイッチの取付	9
6. サイクル動作の説明	10
7. 機械を手動で動かす	11
8. 刃物交換、クリーニングワイヤ交換	12
8-1 刃物交換	12
8-2 クリーニングワイヤ交換	13
9. 給油	14

1. ご使用になるまえに。

この度は、当社製「電動ワイヤーストリッパ. **Cosmic 30M**」をお買い上げいただき、誠に有難う御座います。ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をご一読の上、適正且つ安全にご使用下さいます様お願いいたします。

また、取り扱い上のご不明な点については、当社サービスセンタ又はお買い求めになった販売会社にお問合せ下さい。お問合わせの際、製品のシリアル番号を明示して下さい。シリアル番号は機械後部の名板に記載されております。

商品をお受け取りになったら次の事を確認してください。

- 注文した商品でしょうか？確認してください。
- 運送中にダメージを受けた痕跡、又は外観上に損傷はないか確認してください。
- 商品と共に付属品を確認してください。
- 付属品リスト

#	品名	数量	適用
1	電源コード	1本	
2	ドライバーセット	1組	緑色の工具箱
3	六角棒スパナ（3本セット）	1組	同上
4	センターリングゲージ	1個	同上
5	ヒューズ（2A）	1本	同上
6	フットスイッチ		別売品

商品の梱包資材について

本製品の梱包は、特別に設計された専用の梱包資材を使用しております。解包後この包装資材は捨てないで保存してください。

修理などの目的で本製品を返送する場合は、必ずこの専用梱包資材をご使用下さい。

2. 安全に取扱って頂くための注意事項について。

2-1. この取扱説明書では安全のため、特に注意していただきたい事について「警告」と「注意」の2つに区分して記載しております。必ず、ご一読下さい。



警告

取扱いや操作を誤ると危険な状況になる可能性があり重症又は死亡にいたる危険性が想定される場合。



注意

取扱いや操作を誤ると危険な状況になる可能性があり中程度の傷害や物質的損害の発生が想定される場合。

2-2. この機械を使用するに当たっての警告事項



警告

- 1) 爆発や引火性のあるガスやベーパーが発生している場所、又は危険物が近くにある場所では絶対に使用しないで下さい。多湿な場所での使用も避けて下さい。
- 2) 通電状態での分解、点検、移動はしないで下さい。これらの作業は電源コードを抜いて行って下さい。
- 3) 鋭利な刃物が付いておりますので、付属の保護カバーをつけて使用して下さい。
- 4) 落下の危険性のない、安定した頑丈な作業台の上で使用して下さい。

3. 仕様及び能力（テクニカルデータ）

3-1. 本製品の仕様及び能力

項目	仕様及び能力
1) 対応電線サイズ	AWG14(2.08 mm ²) – AWG32(0.03 mm ²)
2) ストリップ長さの範囲	1.0 – 25.0 mm
3) セミストリップ長さの範囲	1.0 – 20.0 mm
4) サイクルタイム（動作速度）	0.3 秒 (10mm ストリップ°)
5) 切込径の設定	設定単位 0.01mm (デジタルディスプレイにて表示)
6) 刃物材質	ハイス鋼
7) 電線被覆材質	エコ電線、テフロン、ゴム、PVC、その他
8) 電源電圧及び容量	AC100 – 240V 共用、45VA
9) 外形寸法(L x W x H)	350 x 85 x 160 mm
10) 正味重量	5.0 kg

参考資料

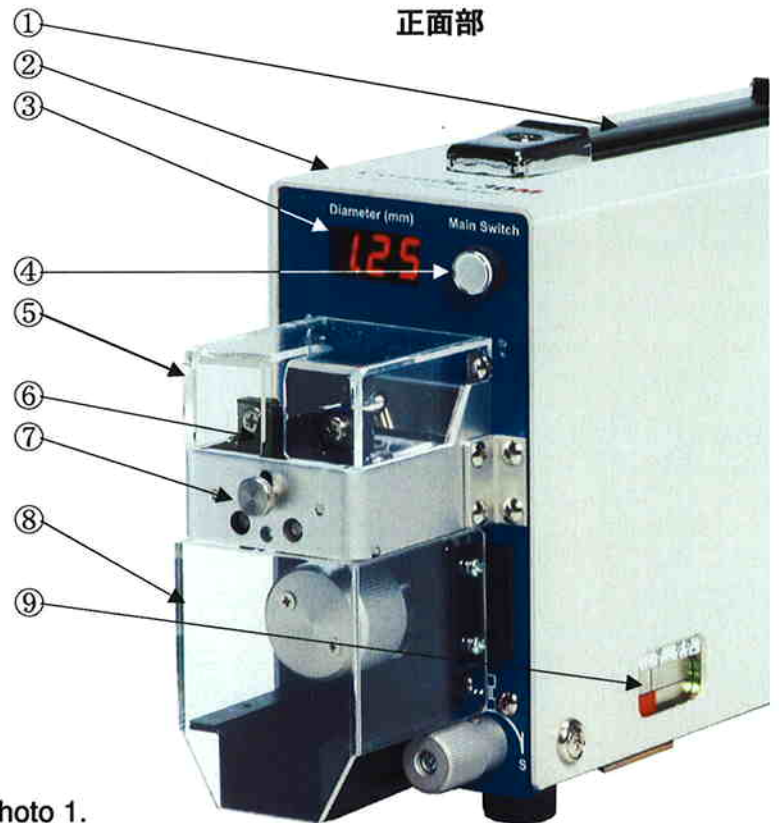
AWG #	断面積mm ²
14	2.08
16	1.32
18	0.81
20	0.52
22	0.32
24	0.20
26	0.13
28	0.08
30	0.05
32	0.03

3-2. オプション情報

- 1) エコ電線用特殊グリッパ
- 2) フットペダルスイッチ
- 3) エアブローキット

4. 各部の名称

- ①取手
- ②外カバー
- ③デジタルディスプレイ
- ④メインスイッチ
- ⑤安全カバー
- ⑥センターガイド
- ⑦センターガイド固定ネジ
- ⑧ウエイストBOX (クズ入れ)
- ⑨ストリップ長さ目盛



- ⑩電源接続部
- ⑪手動操作ノブ
- ⑫フットスイッチコネクター
- ⑬圧縮空気接続用孔



正面部内部

- ⑭タッチセンサ
- ⑮ブレードホルダ
- ⑯グリッパ
- ⑰コンダクター
- ⑱レッドゾーン設定ノブ
- ⑲ストリップ長さ設定ノブ
- ⑳ブレード

- ⑭
- ⑮
- ⑯
- ⑰
- ⑱
- ⑲

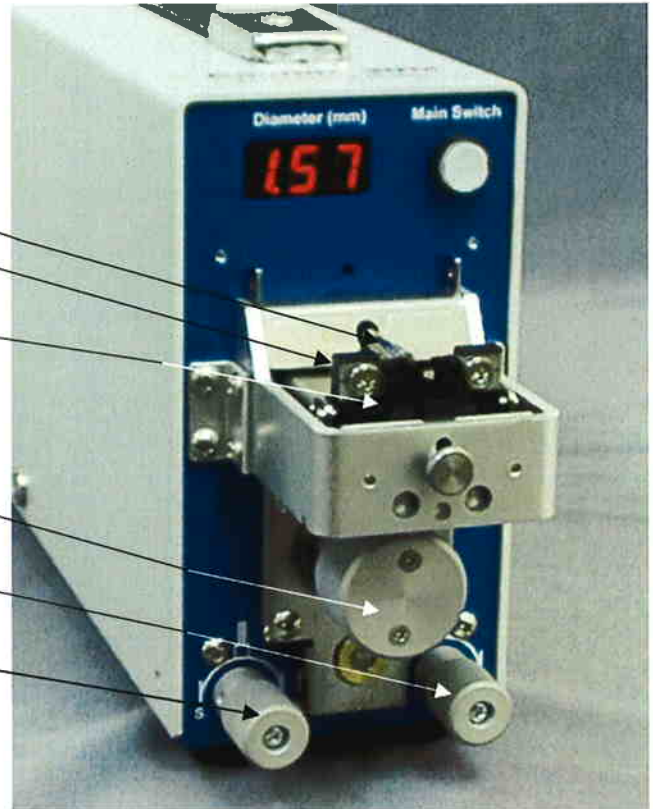


Photo 3.

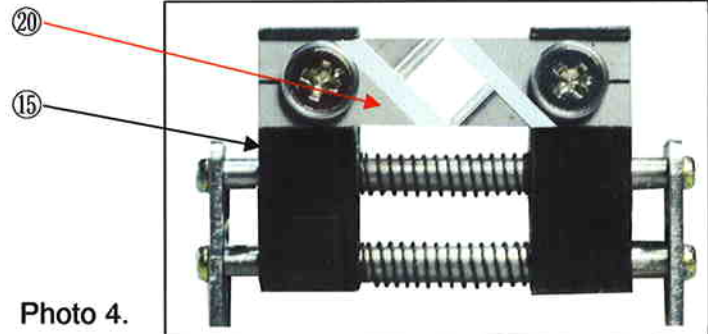


Photo 4.

クリーニングワイヤ



Photo 5.

5. 準備操作 (セットアップ)

5-1. 電源接続(Photo 6.参照)

電源コードを接続して下さい。

電源電圧は AC100V～AC240V の間、共用できますので世界中の家庭用電源が使用可能です。電源コードを接続したら④メインスイッチをON して③デジタルディスプレイの点灯を確認して下さい。



Photo 6.

5-2. 切込径の設定(Photo 7.参照)

③デジタルディスプレイは切込径(芯線の直径)を表示しています。⑰コンダクタを廻して設定して下さい。右(CW)に廻すと数字が大きく、左(CCW)に廻すと小さくなります。

《切込径設定の注意》

切込径を過小に設定すると、刃物が芯線に接触して⑳ブレードを損傷する恐れがあります。はじめ大き目に設定し、徐々に追い込みながら適性値に設定して下さい。

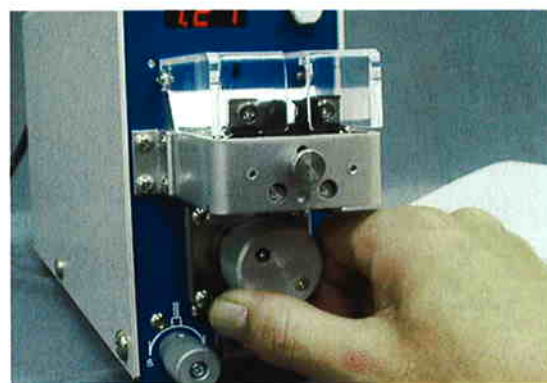


Photo 7

5-3. ⑧ウエイスト BOX (クズ入れ) 取り付け

ウエイストボックス(屑入)を取り付けて下さい。動かないように、しっかり固定して下さい。

右の写真のように奥の方を少し持ち上げて差込み押し付けて下さい。



5-4. ストリップ&セミストリップ長の設定

⑨ストリップ長さ目盛を見ながら、ストリップ長さ及びセミストリップ長さを設定してください。

《目盛の見方と操作方法》

ストリップ長さは⑬ストリップ長さ設定ノブで操作(Photo 8.)、これを廻す事により目盛ポインタ(Pointer, Photo 9.参照)が移動し、このポインタの指示した目盛位置がストリップ長を示します。

レッドゾーン(Photo 9.参照)はブレードの引動長さ(Pull back length)を表示し⑭レッドゾーン設定ノブを操作することによって移動します。

フルストリップ加工(Photo 9.参照)

レッドゾーンを目盛ポインタより長く設定してください。

セミストリップ加工(Photo 10.参照)

レッドゾーンを目盛ポインタより短く設定して下さい。レッドゾーン端部は上部の目盛と整合しています。長さは目盛に合わせて設定して下さい。



Photo 8

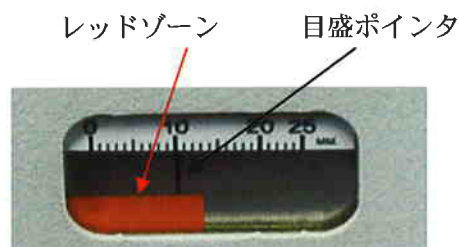


Photo 9

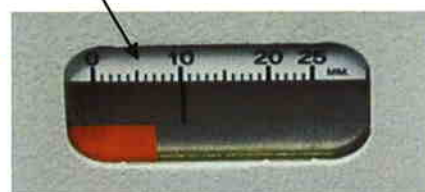


Photo 10

5-5. センターガイドの設定

⑥センターガイドのレベル位置を決め、⑦センターガイド固定ネジを締めて下さい。

センターガイドのレベル位置は、加工する電線が刃物の中心(又は⑭タッチセンサと同一レベル)になるようにセットして下さい。(Photo 11)

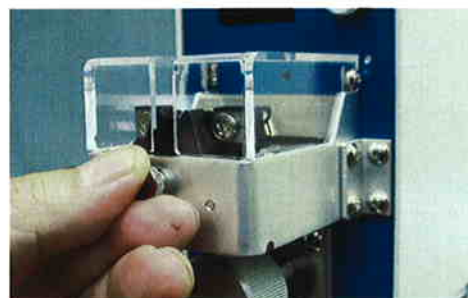


Photo 11

5-6. フットスイッチ(別売品)の取付

状況に応じ、フットスイッチで作業を行うことができます。⑫フットスイッチコネクタ(Photo 12)にフットスイッチを差し込んでください。

【注意】

フットスイッチを取付けると、自動的に切り替り⑭タッチセンサでの作業は出来なくなります。

6. サイクル動作の説明

Step 1 :

加工する電線の先端を差し入れ、タッチセンサの先端に押し当てると、一連のストリップ動作を開始します。グリッパーが電線をグリップすると同時に刃物が切り込みます。



Step 2 :

次に電線被覆を剥ぎ取りながら、前記説明のレッドゾーンで指定した距離を引動します。



Step 3 :

上記のストリップ動作が完了すると、グリッパと刃物が開き、加工済み電線を取り出すことができます。



Step 4 :

刃物が元の位置に戻り、一連の動作が終了し、同時に次の動作に向けてスタンバイします。



7. 機械を手動で動かす



注意 : この操作を行う場合はメインスイッチを **OFF** にし
電源コードを抜いて下さい。

7-1. この操作は方法は、保守点検や刃物交換作業時のみ用いてください。

①手動操作ノブを時計方向に廻すと、前記「サイクル動作の説明」の項に記載してある動作を手動で行うことができます。



Photo 12



注意 : ①手動操作ノブは、通常運転中回転しています。
作業運転中は絶対に触らないで下さい。

8. 刃物の交換要領・クリーニングワイヤー交換要領



注意 : この作業は、必ずメインスイッチを **OFF** にし、電源コードを抜いて行って下さい。

8-1. 刃物交換要領

手順 1)

⑤安全カバーを外し、⑪手動操作ノブを廻して⑬グリッパと⑮ブレードホルダの間を 5mm 程度あけて下さい。

手順 2)

付属のプラスドライバーで、刃物押さえナットのネジをゆるめ、刃物を取り外して下さい。

(Photo 13 参照)

刃物押さえナット

手順 3)

新しい刃物を取り付けてください。取り付けた状態は Photo 14 を参考にし、4 枚の刃物はそれぞれ 2 枚ずつが、背中合わせになるように取り付けして下さい。

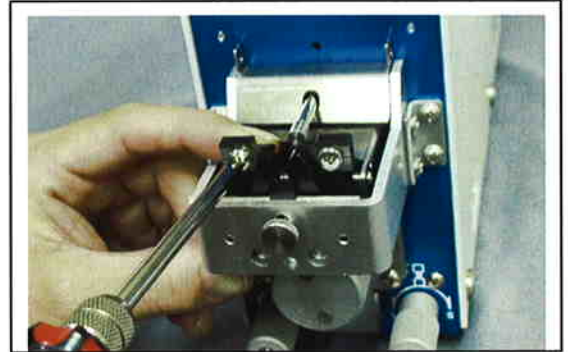


Photo 13

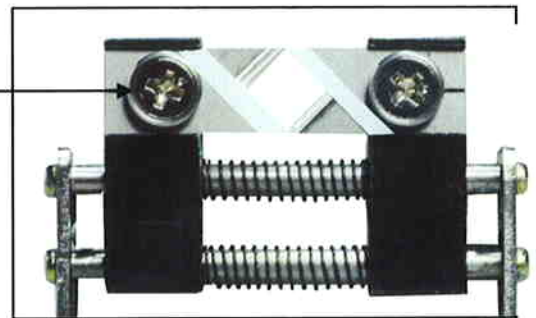


Photo 14

8-2. クリーニングワイヤー交換

手順 1) 取り外し方

付属の六角棒スパナ (対辺 2.5mm) を用いて、クリーニングワイヤー固定ナットをゆるめ、クリーニングワイヤーと共に取り外して下さい。(Photo 15, 16 参照)

手順 2) 取り付け方

新しいクリーニングワイヤーを取り付けて下さい。取り付けた状態は Photo 5(6 頁)と photo 16 を参考にし、押さえナットをしっかり固定して下さい。

参考 : 写真の説明

Photo 15 : 機械を横に倒し機械の下部側から撮影。

Photo 16 : 機械を分解して、取り付け状態の説明用として撮影したもの。

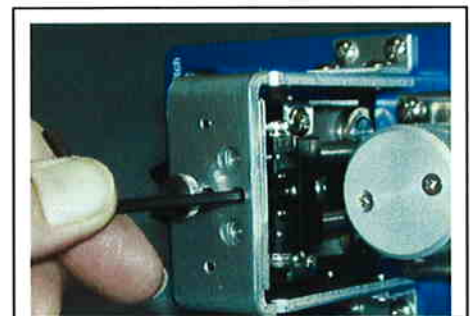


Photo 15

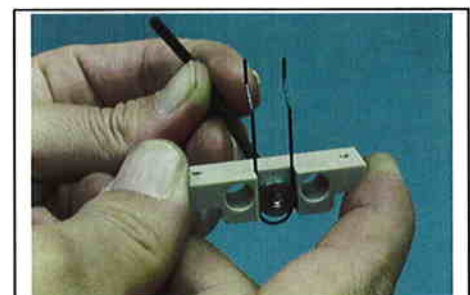


Photo 16

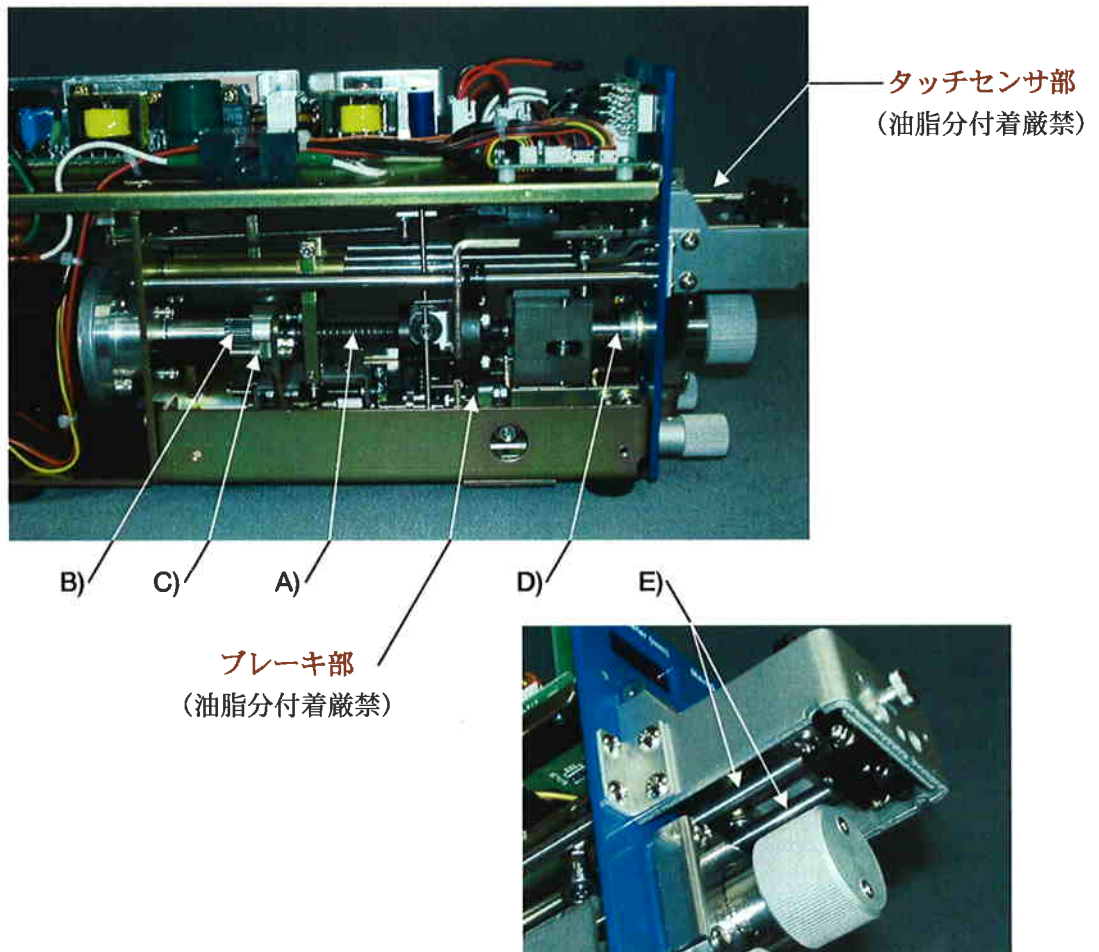
9. 給油



注意 : 給油の際は、メインスイッチを **OFF** にし、必ず電源コードを抜いて行ってください。

9-1. 給油箇所、

下の写真に示す各部に定期的に給油して下さい。指定する期間ごとに適量の給油を行ってください。



嚴重注意 : 指定した以外の箇所には油脂分を付着させないで下さい。特に上記の**ブレーキ部**及び**タッチセンサー部**には、絶対に油脂分を付着させないで下さい。

給油箇所	油脂類	給油期間
A) ボールスクリュー部	グリース	1年毎
B) スプライン軸部	グリース	1年毎
C) ガイドシャフト部	潤滑油	6ヶ月毎
D) ボールネジストップ部	潤滑油	6ヶ月毎
E) グリッパーシャフト部	潤滑油	6ヶ月毎

※使用する油脂類) 1) グリース : リチウム石鹼基系グリース、
2) 潤滑油 : ISOグレード #32 - #100